

ふるさと 資料紹介

＝(65)＝

史料と地名からみた

地区の歴史20

加茂野 (三)

木野村は、弘治三年（一五五七、室町時代後期）ごろに作成された年貢目録に「このむら」として記載され、二百貫の年貢を納めていたことがわかっています。江戸時代には幕府領となり、明治二年の記録では戸数三〇、人口一四九人でした。

加茂野村は、江戸時代尾張藩領で石高は二二二石ありました。明治五年の記録では、戸数三四、人口一五一人でした。

明治二年、市町村制が公布されます。その後、明治三〇年に旧加茂野村を含めた六力村が合併し、新しい加茂野村が生まれました。

今回は、次の人から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

（平成八年十月分）

○木製の滑車 一点

（加藤忠一さん／蜂屋町）

○手斧（ちょうな）など 六点

（岩田昭さん／蜂屋町）



手斧（ちょうな）

○足踏み製糸機、繭かごなど

三一点

（高井義次さん／加茂野町）

○蔵の錠前など 五点

（酒向久人さん／山之上町）

○ハネクリ（麦田用の田おこし）

など二点

（佐光勲さん／太田町）

○川石取用のマンガ（川石取り

道具） 一点

（山口繁政さん／本郷町）

○繭生産・製糸関係用具一式

（高山社美濃出張所／加茂野町）

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課（文化会館内、内四〇八）まで情報をお寄せください。